|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 後 発 品 | | | 標 準 品 |
| 製 品 名 | **ドネペジル塩酸塩ＯＤ錠3mg 「クニヒロ」** | | | **アリセプトＤ錠3mg** |
| 製造販売会社 | 皇漢堂製薬株式会社 | | | － |
| 成 分 名 | ドネペジル塩酸塩 | | | |
| 規 格 | 1錠中にドネペジル塩酸塩を3mg含有 | | | |
| 薬効分類 | アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤 | | | |
| 薬　　価 | 13.00円／錠 | | | 51.20円／錠 |
| 薬 価 差 | 38.20円／錠 | | | |
| 効能･効果 | 標準品と同一 | アルツハイマー型認知症及びレビー小体型認知症における認知症症状の進行抑制 | | |
| 用法･用量 | 標準品と同一 | アルツハイマー型認知症における認知症症状の進行抑制  通常、成人にはドネペジル塩酸塩として1日1回3mgから開始し、1～2週間後に5mgに増量し、経口投与する。高度のアルツハイマー型認知症患者には、5mgで4週間以上経過後、10mgに増量する。なお、症状により適宜減量　する。  レビー小体型認知症における認知症症状の進行抑制  通常、成人にはドネペジル塩酸塩として1日1回3mgから開始し、1～2週間後に5mgに増量し、経口投与する。5mgで4週間以上経過後、10mgに増量する。なお、症状により5mgまで減量できる。 | | |
| 規制区分・  貯 法 | 規制区分：劇薬、処方箋医薬品  気密容器、室温保存 | | 規制区分：劇薬、処方箋医薬品  室温保存、PTP包装はアルミ袋開封後、湿気を避けて保存すること（なお、光により変色することがあるため、PTPにUVカットフィルムを使用している）。バラ包装はアルミ袋開封後、光を遮り、湿気を避けて保存すること（光により変色、湿気により吸湿することがある）。 | |
| 使用期限 | 3年 | | |  |
| 添 加 物 | D-マンニトール、トウモロコシデンプン、クロスカルメロースナトリウム、アスパルテーム、低置換度ヒドロキシプロピルセルロース、結晶セルロース、クロスポビドン、黄色三二酸化鉄、三二酸化鉄、ステアリン酸マグネシウム | | | 黄色三二酸化鉄、カラギーナン、軽質無水ケイ酸、ポリビニルアルコール、D-マンニトール |
| 外 観 | 黄色の口腔内崩壊錠 | | | 黄色 口腔内崩壊錠 |
| 外形(重量・  直径・厚さ) | ﾄﾞﾈﾍﾟｼﾞﾙOD錠剤画像3mg側面ﾄﾞﾈﾍﾟｼﾞﾙOD錠剤画像3mgウラﾄﾞﾈﾍﾟｼﾞﾙOD錠剤画像3mg表  140mg　　　7.0mm　　　3.2mm | | | 168mg　　　8.0mm　　　3.3mm |
| 識別コード | KS521 | | |  |
| 薬物動態  (標準品との 同等性) | 溶出試験 （試験液：pH6.8）  「含量が異なる経口固形製剤の生物学的同等性試験ガイドライン」に基づき、ドネペジル塩酸塩OD錠「クニヒロ」10mgを標準製剤としたとき、両製剤の溶出挙動は同等であると判断された。 | | | 血中濃度比較試験（OD錠、水なし）  「後発医薬品の生物学的同等性試験ガイドライン」に基づき、ドネペジル塩酸塩OD錠「クニヒロ」10mgと標準製剤(10mg)の生物学的同等性が確認された。  ドネペジル塩酸塩OD錠BE水なし1水なし |
| 備考 |  | | | |
| 担当者、連絡先 |  | | | |